

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年	根拠法令・規程等	健康増進法・食育基本法 備前市健康づくり推進協議会条例		
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室)	保健課		
	中項目 基本施策	06	健やかで生き生きしたまちづくり			合 職・氏名	健康係長・春名 美郎
	小項目 施策	02	健康づくり				
事務事業名		03	健康づくり推進協議会事業	このシート作成に要した時間			
					1.5 時間		

事業の意図する成果とつながら成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	乳幼児期から高齢期までの市民	
目的(何のために)	市民の健康の保持及び増進のために必要な対策の検討並びに総合保健計画の立案とその施策の推進を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康づくり推進協議会で必要とされた施策を実施することにより、市民一人ひとりが主体的に健康づくりや食育に取り組み、総合保健計画(健康びぜん21、備前市食育推進計画)の目標が達成され、その結果市民の健康が増進する。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			Do
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	健康づくり推進協議会事業	健康づくり推進協議会を開催し、健康びぜん21計画に沿った保健事業の進捗状況をもとに、必要な対策や取り組みについて検討し、毎年の事業計画を作成する。平成20年度は健康びぜん21の中間見直し及び備前市食育推進計画の策定にあたった。目標年度である平成25年は次期計画策定の委員会を兼ねる予定。	

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	千円	65	59	189
必要人員	人	0.26人	0.28人	0.32人
必要人員費	千円	1,788	1,962	2,365
事業費	千円	1,853	2,021	2,554
国庫支出金				
受益者負担				
繰入金				
市債				
その他()				
一般財源		1,853	2,021	2,554
受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標量	回	1	1	2
対前年比	%	-	100.0%	200.0%
活動コスト	円	1,853,000	2,021,000	2,021,000
単当たりコスト		1,853,000	2,021,000	1,010,500

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
「健康びぜん21」ライフステージの重点目標(11項目)のうち前年度より達成目標に近づいた指標の数	目標値(A)		7	11	11	11
	実績値(B)		1	1	5	到達目標値
	達成率(B/A)		14.29%	9.09%	45.45%	11
成果指標設定の考え方・式や説明						
「健康びぜん21」ライフステージの重点目標のうち罹患率の減少(乳幼児期・6歳) 朝食を毎日食べる人の増加・小学6年生・中学3年生(学童・思春期) 節目健診者数の増加(青・壮年期) 8125以上の人の減少(中年期) 介護保険認定率の維持(高齢期) 朝食を毎日食べる人の増加・3歳6カ月児(食育推進計画) 年に一度、健診をうける人の増加(中年期) 喫煙者の減少・男性・女性(青・壮年期) 寝たきり運動をしている人の増加(40歳代)のうち前年度より達成目標に近づいた指標の数(- は平成22年度より「市民意識調査」に追加) (- はH23 - はH25 - はH26 - はH27 - はH28 - はH29 - はH30 - はH31 - はH32 - はH33 - はH34 - はH35 - はH36 - はH37 - はH38 - はH39 - はH40 - はH41 - はH42 - はH43 - はH44 - はH45 - はH46 - はH47 - はH48 - はH49 - はH50)						

Check

事務事業の評価	該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	妥当性評価	
市の関与の妥当性の評価	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい	
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	単当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
		有効性の評価	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
市民参画度		C	

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	今年度も年2回の協議会と年1回の食育推進専門委員会を開催し、委員が発言しやすい会の運営を開催する中で、各組織間の連携に重点をおいた健康づくり活動の計画と実践ができるように支援する。

総合評価		総合評価
年2回の推進協議会の中で、各組織の計画と取り組みが健康づくりに直結していることや、各組織間の連携のもと健康づくりの推進をしていく必要性を共通理解することができた。また、食育推進専門委員会を開催することで、食育推進計画の取り組みについても検証することができた。次年度は、委員がより組織間の連携を意識した健康づくりの取り組みが行えるような協議会となるよう支援する。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい
		B

Action

平成25年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	これまでの取り組みの検証として、目標値の達成度の確認を行い、最終評価とするとともに、次期計画の策定委員会を開催し、市民の主体的な健康づくりを進めていく。